

株式会社 英田エンジニアリング



入社
の
動
機

大学でプロダクトデザインを専攻していたこともあり、工業製品をデザインする職業に就きたいと考えていました。当社はコインパーキング、車両侵入防止装置「パワーボラード」など、機能だけでなくデザインでも高い評価を受けている製品を次々に開発。会社訪問時には社員の明るい表情から業績の良さがうかがえ、創業者の精神「ちよつと進んだモノづくり」にも共感を覚えました。

仕事
内
容

配属された経営企画部では、

経営企画部

田口 育弥さん(23)=岡山県立大学デザイン学部卒

働き
が
い
目
標

私は若手社員有志でつくる新規事業・新製品開発チーム「NEXTモノづくりプロジェクト」に所属。トップダウンのア

企業PV(プロモーションビデオ)の撮影・編集、製品のカタログやポスター、ウェブページなどの制作を担当。当初のBtoC(企業対個人)商品で、自動車ベタルの踏み間違え事故防止装置「アイアクセル」の新開広告を手掛けた際は、限られたスペースに必要な情報を分かりやすく盛り込むため何度も紙面を作り直しました。掲載後には商品への問い合わせがあったと聞き、手応えを実感。文字や写真、イラストなどを効果的に使うことでユーザーの心をつかむことができ、デザインの奥深さを再認識できました。高齢者の交通事故が社会問題化していた時期とも重なっていたため、自社製品が社会貢献につながることに喜びを感じました。

社会貢献できる製品に喜び



先輩社員と打ち合わせをする田口さん

就
活
生
へ

チームの先頭を切って、新事業・新製品のデザインを担える目を目指し、日々の業務にまい進したいと思っています。

アイデアに頼るだけでなく、ボトムアップ型の提案で社業発展につなげようと、2年前に経営企画部が主導して発足しました。各部署から20〜40代の9人が参加し週1回、会合を重ねています。現在は各部署の課題を洗い出し解決策を検討。将来的には数年後の社会をイメージし、その時の課題を解決できる事業や製品を開発するのが目標です。チ

また入社前のイメージと実際の業務とのギャップを少なくし、身に付けたスキルを発揮するために会社訪問やインターンシップの活用をお勧めします。

就職活動では「自分が何をしたいのか」を明確にすることが重要です。私は「デザイン的アプローチでモノづくりをしたい」という思いを固めたことで、大学の先生から当社を紹介されました。岡山県内にもさまざまな有力企業があることを知り、「デザインを仕事にするなら都市部」という先入観を払しょくすることができました。



社員の食と体と心の健康を維持するために整備した福利厚生棟

株式会社英田エンジニアリング

美作市三保原678

TEL 0868(74)3637

http://www.aida-eng.co.jp

資本金 6000万円/売上高 47億8000万円(2020年12月期)
 /社員数 135人/事業内容 冷間ロール成形機・造管機、
 駐車場・駐輪場管理システム、フォーミングロール、金型・刃
 物関係等の企画設計製造販売/事業所 本社工場、吉井工場、
 大阪営業所、東京営業所/採用実績 7人(2021年)